

「FilmArray 呼吸器パネルで単独同定されたウイルス性呼吸器感染症 入院小児における炎症反応の規定因子の比較：上気道細菌培養を 共変量とした単施設後方視的コホート研究」へご協力をお願い

【目的】

本研究は FilmArray 呼吸器パネル 2.1 で単独同定された 5 種ウイルス性呼吸器感染症入院小児において、上気道細菌培養結果を共変量として多変量回帰に投入することで、炎症反応に対するウイルス自体の独立した寄与を病原体別に定量化します。これにより、先行研究（Nishikawa 2025）が示した病原体別の CRP・WBC 関連パターンが細菌共感染の影響を除いた後も維持されるかどうかを初めて検証します。

【研究の対象】

当院に 2021 年 10 月～2026 年 3 月に入院した発熱または呼吸器症状（咳嗽・喘鳴・鼻汁・チアノーゼのいずれか）を有した 15 歳以下の小児患者さん

【研究の目的・方法】

FilmArray 呼吸器パネル 2.1 で単独陽性・血液培養陰性の入院小児において、RS ウイルス（RSV）・ライノ/エンテロウイルス（RhEV）・パラインフルエンザウイルス（PIV）・ヒトメタニューモウイルス（hMPV）・アデノウイルス（AdV）の 5 病原体群間で、上気道細菌培養結果を共変量として考慮した上での CRP・WBC・好中球百分率を比較します。

通常の診療で収集された既存の診療情報のみを使用いたします。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より 2027 年 3 月 31 日迄

【外部への試料・情報の提供について】

ありません。

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

FilmArray 陽性所見と血液炎症マーカーを組み合わせた抗菌薬適正使用の判断基準の構築に貢献し、日本における小児呼吸器感染症の抗菌薬スチュワードシッププログラムに科学的根拠を提供いたします。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としません
ので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じる
ことはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 小児科

氏名 古賀 寛史

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766